



市町村のまちづくり



小美玉市陸の玄関口

～ JR 羽鳥駅橋上化の完成 ～

小美玉市都市建設部都市整備課 主事補 内田 魁

はじめに

小美玉市では、茨城空港やJR羽鳥駅周辺など都市機能等の拠点となる施設を中心に、広域的な道路ネットワークの充実を図るとともに、生活道路の整備、公共交通の充実を図っています。

現在では、小美玉市の陸の玄関口であるJR羽鳥駅の橋上化とバリアフリーに対応した東西自由通路や駅前広場を一体的整備することにより、交通結節機能の強化を図り、すべての人にとって使いやすい施設として、利用されています。



JR羽鳥駅周辺整備事業

《 整備概要 》

○羽鳥駅周辺整備事業

事業期間：平成26年度～令和2年度

総事業費：約2,650百万円

【 JR羽鳥駅橋上駅舎・東西自由通路 】

工期：平成29年8月～令和2年2月

供用開始：令和2年2月16日

主な事業

橋上駅舎整備、東西自由通路整備、エレベーター整備（23人乗り・ストレッチャー対応）、公衆トイレ及び多目的トイレ整備等

【 JR羽鳥駅東西駅前広場 】

工期：令和2年3月～令和3年3月

供用開始：令和3年3月31日

主な事業

シェルター整備、一般車乗降場整備、バス乗降場整備、タクシー乗降場整備、東口有料駐車場整備等



橋上化したJR羽鳥駅（東口側）

経緯

JR羽鳥駅周辺地域は、常磐自動車道、国道6号、国道355号などの幹線道路が通っており、交通条件に恵まれた地域であるものの、交通結節点である羽鳥駅は、施設のバリアフリー化が進んでおらず、また、西口しか改札口がなかったため、交通渋滞が発生していたなど、駅前として脆弱な状況にありました。

そこでJR羽鳥駅を中心とした地域を「陸の玄関口」と位置づけ、JR羽鳥駅の利便性の向上と交通結節点としての機能強化を図るため、羽鳥駅周辺整備事業をすることにより、誰もが安全安心に利用できる陸の交流拠点を目指す事としました。



JR羽鳥駅旧駅舎



■市民参画

JR羽鳥駅を整備するにあたって、地元住民や学識経験者からなる、羽鳥駅東口拠点整備等検討委員会を開催し、羽鳥駅やその周辺地域に愛着や誇りを持っていただけるような住民参加できる企画等について検討しました。東西自由通路の北側壁面は住民参加により、モザイクタイルアートを設置することになりました。本作品は、2回のワークショップを開催し、約120名の方が参加し、1cm角タイルを約13万個使用し、製作されました。



JR羽鳥駅東西自由通路



橋上化したJR羽鳥駅（西口側）



JR羽鳥駅東口駅前広場



モザイクタイルアートのワークショップ状況



JR羽鳥駅西口駅前広場

■今後の展望

小美玉市における近年の都市整備については、ごみ処理広域化事業、学校規模・配置適正化事業、幹線道路の整備、そして今回の羽鳥駅および駅前広場の整備等があります。広域的な人・ものの交流、市民の交流が着実に広がる機会をチャンスと捉え、市民だけではなく、小美玉市に関わりのある人たち、関心がある人たちが「住んでみたい 住んでよかった これからも住み続けたい」と感じられるよう取り組んでいきます。

また、羽鳥駅および駅前広場の整備につきまして、周辺住民・駅利用者・関係各位の皆さまのご理解ご協力に感謝いたします。

■整備にあたっての課題解決

本事業によって、羽鳥駅は橋上化され、また施設のバリアフリー化が進んだことで、すべての人にとって使いやすい施設として整備されました。

